

デービッド・アトキンソン
新・生産性立国論 人口減少で「経済の常識」が根本から変わった

新・デービッド・アトキンソン 生産性立国論

人口減少で **シリーズ17万部!**
「経済の常識」が根本から変わった
日本に「労働者の黄金時代」
が訪れる。「労働者の質」はトップレベル
「無能な経営者」こそ問題だ

東洋経済新報社

発売日: 2018年2月23日
出版: 東洋経済新報社
著者: デービッド・アトキンソン
ページ: 283
PDF

猫も杓子も生産性、でもほとんどの議論は間違いだ！

『新・観光立国論』（山本七平賞）で日本の観光政策に多大な影響を与えた筆者が、今度は34年間の集大成として「日本経済改革の本丸＝生産性」に切り込みます。

読めば納得、目からウロコ、歯に衣着せぬ「アトキンソン節」、全開！

【本書の内容】

- ・「良いものをより安く」が国を滅ぼす
- ・日本企業数は「いまの半分」でいい
- ・最低賃金を上げて「経営者」を追い込むべし
 - ・かつて「人口が半減した国」に学べ
- ・「女性優遇」では生産性は上がらない
- ・生産性を高めないのは「親を見殺しにする国」になる道 他

：：

日本人は「生産性」と「効率性」を混同しています。

たとえば、誰も求めている商品を「効率よく」つくることは可能です。

しかし、売れない以上、「生産性」はゼロです。

生産性のないもののことを、無駄と呼ぶのです。

デービッド・アトキンソン

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

【主な内容】

はじめに

第1章 人口減少は「生産性」向上でしか補えない

第2章 「生産性」を正しく理解し、目標を立てよう

第3章 「高品質・低価格」という妄想が日本を滅ぼす：改革のポイント1

第4章 「女性」をどうにかしないと生産性は上がらない：改革のポイント2

第5章 奇跡的に「無能」な日本の経営者たち：改革のポイント3

第6章 国がとるべき「3つの生産性向上策」

第7章 企業が生産性を上げるための「5つのドライバー」と「12のステップ」

おわりに

<https://k2s.cc/file/f2a3dd733118b/uMRcSfZ7F.pdf.rar>